

第9波「より大規模か」

変更前最後の会合 専門家有志ら提言

新型コロナウイルス対策を助言する厚生労働省の専門家組織「アドバイザリーボード」の会合が19日開かれ、専門家の有志らは今後の新型コロナの感染状況について「（予想される）第9波の流行は、第8波より大規模になる可能性がある」との提言をまとめました。

加藤勝信厚労相は会合で、感染症法上の「5類」への移行が予定されている5月8日以降は、会合をこれまでの1～2週間に1回程度から不定期の開催

に変更する考えを示し、「きょうが（5類）変更前最後の開催となる」と述べました。

18日までに確認され

た全国の新規感染者数は前週比1・06倍で、緩やかな増加傾向となっています。こうした状況を踏まえ、提言は「今後、第9波の流行が起きる可能性が高い」と分析。リスクの高い人を中心に死者が継続的に発生するとして「高齢者や基礎疾患を持つ人たちへの対策は続ける必要がある」と警鐘を鳴らしました。